

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472603149	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日	平成17年12月 日	
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語 さがみ			
所在地	(〒228-0827) 神奈川県相模原市磯部156-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月9日	評価結果 市町村受理日	平成22年9月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

相模川の近くにあり、田畑の多い自然に恵まれた静かな環境の中、天気の良い日は、ホームの周りの散歩が、日課となっています。ホームの裏には、畑を作り、夏野菜を中心に、さつま芋・里芋などを作り、収穫を御入居者と共に楽しんでおります。ゆっくり穏やかに毎日を、お過ごしいただきたいと願っております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成22年2月23日	評価機関 評価決定日	平成22年8月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【立地・環境】 このホームは、JR相模線下溝駅より徒歩10分の、田畑や緑に囲まれた閑静な住宅地に位置する。相模川が近くを流れ、周囲の山並みの景色も美しい。ホームの菜園があり、春、夏は何種類もの野菜、秋はサツマイモを地域の方の協力を得て栽培し、利用者も手伝って収穫した野菜が食卓に上る。「大風あげ」や「お月見」と呼ばれる伝統行事が盛んな地域で、利用者も見物したり、参加して楽しんでいる。</p> <p>【清潔・衛生】 事業所内は清掃が行き届き清潔で衛生的である。玄関前に手指消毒液とマスクを用意して、新型インフルエンザ等の感染予防に努めている。職員は全員、常にマスクを装着しており、来客にも手洗いとマスク装着を勧めている。</p> <p>【医療体制の充実】 協力医療機関が往診・訪問看護・緊急時の受け入れに対応する体制があり、総合的健康管理を行っている。往診は内科が月2回、歯科と訪問看護が毎週ある。</p> <p>【自由な生活】 玄関、ユニット扉とも日中は施錠せず、職員が利用者の動きを連携して見守っている。昼食、おやつ、夕食の時間は決めているが、朝食はそれぞれが起床した後、7～8時頃に取り替えている。その日の体調や天気に応じて、気分が乗ったらぬり絵をするなど、生活は自由で、時間の流れがゆったりしている。職員に見守られながら喫煙を楽しむ利用者もいる。利用者と職員の間には良い関係が築かれており、協力しながら穏やかに生活している。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	花物語さがみ
ユニット名	大地

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	五つの四文字熟語で介護に向かう姿勢を表している。地域密着を示すための理念はないが、日常の生活の中では、地域の方との連携は、大切に思っています。	「一人ひとりに笑顔をもって真心で寄り添う」という意味の、介護に当たる心構えを示した理念を事務室に掲出している。職員は入職時に説明を受け、以後「スタッフ会」で読み上げて確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事（盆踊り・大凧上げ・消防訓練等）には、出来るだけ多く参加させて頂く。	自治会に加入し、盆踊り、お祭り、大凧上げなどを見物したり、「お月見」に参加して地域の人と交流をしている。地区の消防訓練に利用者も参加している。ホームのバーベキューパーティーには近隣の方も来てくれる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じ、認知症についてお話し、ホームのことを、自治会等で話して頂くよう、お願いしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の後の、地域の消防訓練のおり、ホームのことを、参加された皆さんにお話して頂き、有り難く思いました。	運営推進会議は6ヶ月に1回のペースで開催している。自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員も出席している。自治会でホームをPRしてもらったことで地域に周知された。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	書類の提出など、必要に応じて、質問し、とても親切に対応して頂いております。	市の担当者とは日ごろから連絡を取りあい、運営推進会議や消防訓練の報告、計画作成担当者の変更届け時などに事業所の状況などの説明をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は、玄関は、鍵をかけておらず、庭の散策は、自由にして頂いている。	身体拘束防止マニュアル、ガイドラインに基づきスタッフ会で研修を行っている。玄関、ユニット扉は日中は施錠せず、利用者の所在や動きを職員間で声かけをして見守っている。居室は中から鍵をかけられるようになっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ会で議題にして、皆に意識してもらおう。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在はありませんが、必要に応じて、今後行って行きたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者ご家族の不安を取り除けるよう、たくさんの質問を頂き、お話させて頂くことが大切だと思います。伺ったお話は、以後のケアに生かしていきます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画を送付する際、ご意見をいただけるよう、手紙をつけ、返って来た手紙は、スタッフにも読んでもらっている。	家族の来訪時や行事の後に意見を聞くようにしている。家族からの要望に応じて協力医療機関による往診を実施したり、「職員の名前を知りたい」との要望に応じて、名札をユニット入口に掲示した。玄関に意見箱を置いてるが投函の実績はない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会、面談及び必要に応じ、話の出来る機会を作るよう心掛けている。コミュニケーションは、常に大切と考えている。	毎月のスタッフ会や年1回の雇用契約更新時に希望を聞くようにしている。シフトの要望や仕事の分担についての提案が多い。「後日の予定を配慮して買物をするようにしよう」との提案があり、直ちに実行した事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昨年時給の見直しがありました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパー2級取得支援制度を利用し、現在、2名のスタッフが、受講中。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	GH協議会を通じ、他のホームと相互に研修を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご利用者・ご家族からの少しでも多くの情報を頂き、入居後の生活に活かせるよう、スタッフ全員に把握してもらう。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	質問や不安に思っている点については、丁寧な対応を心掛けている。慣れるまでは、多くの面会をお願いしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者・ご家族にとって、何が大切で必要かを大切にしていきたいと考えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事はして頂くを基本に、調理等家事への参加を、お願いしている。行事などは、一緒に楽しむこと。それには、まずスタッフが楽しいと思うことが大事と考える。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際、ご家族には、日頃の様子をお伝えし、ご家族との会話を通し、信頼を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・知人と過ごす時間を大切にと考えている。いつでも面会にいらしていただける環境作りを心掛けている。	利用者は馴染みの美容院や墓参りに家族と行っている。近所に自宅があり、昼食を自宅で食べて夕方戻って来る方もいる。友人の来訪もある。馴染みの場所や人とのつながりを継続できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ひとりひとりに気を配り、感情の変化に注意し、対応できるよう、申し送りなどにより情報を共有する。席の配置にも気を配り、穏やかに過ごして頂けるよう支援する。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたあとも、ご家族が、遊びにいらして下さったことがあり、今後もそのような関係を、大切にしていきたいと考えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者にとって、今一番良い過ごし方を、ご家族と共に考え、このホームでの過ごしに反映出来るよう、支援している。	日常生活の中で利用者の言葉を拾い、思いを把握するように努めている。意思疎通が困難な方には、家族の話を聞いてよく観察し、スタッフ間で声を掛け合い、気づいたことを共有しながら、好きな飲み物など、思いを把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご利用者・ご家族からの情報により、アセスメントを作成し、入居後の生活支援に活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者一人ひとりの生活の違いを把握し、念頭において対応する。日々の変化の情報を、共有する。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のスタッフ会で、カンファレンスを行い、多くの意見を出し合い、次の介護計画につなげている。又ご家族には、面会にいらした際に、お話させて頂いている。	介護計画はカンファレンスで職員が意見を出し合い、計画作成担当者がまとめて作成している。計画書を家族に送付して希望を聞き、受診記録を参照して医師の意見も反映している。状態の急変時以外は3~4ヶ月で見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録には、食事・水分量・服薬・排泄の基本的な生活の記録のほか、日々の変化についても記録し、申し送り、情報の共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	相談のあった場合は、地域包括・居宅へ、つなげる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加することにより、昔を思い出し、楽しく過ごして頂く。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	湘南あつぎクリニックにより、往診・訪問看護・緊急時の受入の総合的な健康管理を行っている。一部ご利用者については、ご家族対応で受診して頂いている。	入居前からのかかりつけ医を受診している方が3名いる。その他の方は全員協力医をかかりつけ医としている。往診は内科が隔週、歯科と訪問看護は毎週である。精神科その他の診療科は家族が付き添い個別に受診している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護のときに、伝えたいことや聞きたい事を、バイタルチェック表に記入している。変化のあったときは、連絡できるので、安心できる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、お見舞いに伺い、状態を把握するよう努めている。又ご家族とも、連絡を取り合うように、対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居の際、指針を提示し、説明を行い、同意をいただいている。	重度化した場合の指針を定めている。看取りは、常時医療処置を要せず、本人や家族が希望し協力できるという条件が整えば受け入れる。家族に説明し同意を得ている。これまで、入院するケースが多く、ターミナルケアの実績はまだない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作り、記録ファイルにはさみ、いつでも読めるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防訓練に参加し、なじみの関係を築く。又運営推進会議を通し、協力をお願いする。	避難訓練は年2回定期的に夜間も想定して行っている。内1回は消防署の立ち会いの下で実施している。自治会を通じて、地域の方に非常時における協力を呼び掛けてもらっている。非常用の食料や備品の備蓄はない。スプリンクラーは来年度設置予定である。	災害時に備えて、食料、水、備品などを備蓄しておくことが望まれる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬語を使う・居室に入る時は断わってから入るなどの基本的なことは、スタッフ会等で、確認をしている。	職員には入職時の研修やスタッフ会で認知症高齢者介護の基本を確認している。新しい職員には、適切な声かけや対応ができるよう管理者や先輩職員が指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	わかりやすい言葉掛けを行うようにしている。選んで頂く場合は、選択肢を少なくしてわかりやすいような工夫をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールについては、食事とお茶の時間のほかは、決まっていない。天気・その日の状態に応じ、買い物・散歩・レクなどを、楽しんでもらう。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、理美容に来て頂き、カットや毛染めを、希望により利用していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑から収穫した野菜であることを話しながら、洗ったり剥いたりしていただく。洗濯物畳み・食器洗い・食器拭きなど気持ちにそいながら、お願いする。	利用者はもやしの芽取りや、ジャガイモの皮をむき、刻みなどの調理や、下膳、食器拭きなどを手伝っている。職員も一緒に席に着き、同じ食事や持参した弁当を食べている。行事の時は全員同じものを食べている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の形態を、一口大の刻みや細かい刻みなど、食べやすく対応する。食材を記録することで、バランスに気を配る。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夜間義歯をはずした状態でお休み出来ない方については、昼食後おあずかりして、洗淨剤を使用するなど、一人ひとりに対応してケアしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握し、その方に応じた援助を、行っている。	水分摂取表、排泄チェック表を記入して一人ひとりの排泄パターンを把握している。時間を見計らってトイレに誘導し、自力で排泄する気持ちを大切にしている。夜間、頻回にトイレに行かれる方の居室にはポータブルトイレを置いている。状態や時間帯によりリハビリパンツと布パンツを使い分けるなど工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録により、水分量・食事量などを参考にして、水分を勧めたり、処方されている整腸剤の調節を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ひとりずつ、職員の介助により、入浴して頂く。	入浴頻度は週3回を目安にしている。入浴しながらない方には「着替えだけでもしましょう」など、言葉を選んで促したり、足浴や清拭をすることもある。季節の菖蒲湯、柚子湯を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お布団での就寝を習慣としていらした方については、安心してお休みいただけるよう対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は、スタッフ全員が把握し、間違えの無いようにチェックを行い、薬に変更があった場合は、受診報告・申し送り等で、周知を徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月のカレンダー作りへの参加や、季節ごとの行事などへの参加を楽しんでいただく。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の散歩は、天候を見ながら、歩行出来ない方には、車椅子を使い、楽しんでいただいている。遠方へのご希望は、ご家族に相談させて頂いている。	天気の良い日は近所へ散歩に、車椅子の方も一緒に出掛けている。買物には1日おきに車で行っている。季節に合わせ花見、イチゴ狩り、紅葉見物などに出かけている。たびたび遠方の神社参拝を希望する利用者の声を聴き、家族に伝え、連れて行ってもらったことがある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい品があるときは、買い物にご一緒し、ホームで立替、次月ご家族にお支払いいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	書くことの出来る方には、年賀状・暑中見舞いなどを用意し、ポストまで一緒している。電話についてもご希望があれば、掛けて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りを、一緒に作り、楽しんでいただいている。又、手作りのカレンダーを掛けて、月日を意識して頂く。	玄関、廊下は広くゆったりしている。リビングは日当たりが良く明るい。壁に行事の時の大きな写真、手作りカレンダー、習字などの作品を、コーナーには季節の花を飾っている。職員は揃いのエプロンにはせず、家庭的な雰囲気になるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席のほか、ソファやダイニングの椅子・廊下のベンチなど用意し、ホーム内は、自由に移動していただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン（防炎加工）・家具は、ご利用者の好みで用意していただいている。仏壇をお持ちの方もいらっしゃる。	居室にはたんす、テーブル椅子、テレビなど馴染みの家具類を置き、壁にはぬり絵や習字などの作品や家族の写真などを飾り、落ち着いて過ごせる場所となっている。加湿器を置き湿度にも配慮している。入口に小物を飾るなどして自室の目印としている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーになっており、エレベータを設置している。フロア・浴室・トイレには、手すりを整備、安全に移動していただく助けとなっている。		

事業所名	花物語さがみ
ユニット名	青空

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	五つの四文字熟語で介護に向かう姿勢を表している。地域密着を示すための理念はないが、日常生活の中では、地域の方との連携は、大切に思っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事（盆踊り・大凧上げ・消防訓練等）には、出来るだけ多く参加させて頂く。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じ、認知症についてお話し、ホームのことを、自治会等で話して頂くよう、お願いしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の後の、地域の消防訓練のおり、ホームのことを、参加された皆さんにお話し頂き、有り難く思いました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	書類の提出など、必要に応じて、質問し、とても親切に対応して頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は、玄関は、鍵をかけておらず、庭の散策は、自由にして頂いている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ会で議題にして、皆に意識してもらう。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在はありませんが、必要に応じて、今後行って行きたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者ご家族の不安を取り除けるよう、たくさんの質問を頂き、お話させて頂くことが大切だと思います。伺ったお話は、以後のケアに生かしていきます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画を送付する際、ご意見をいただけるよう、手紙をつけ、返って来た手紙は、スタッフにも読んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会、面談及び必要に応じ、話の出来る機会を作るよう心掛けている。コミュニケーションは、常に大切と考えている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昨年時給の見直しがありました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパー2級取得支援制度を利用し、現在、2名のスタッフが、受講中。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	GH協議会を通じ、他のホームと相互に研修を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご利用者・ご家族からの少しでも多くの情報を頂き、入居後の生活に活かせるよう、スタッフ全員に把握してもらう。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	質問や不安に思っている点については、丁寧な対応を心掛けている。慣れるまでは、多くの面会をお願いしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者・ご家族にとって、何が大切で必要かを大切にしていきたいと考えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事はして頂くを基本に、調理等家事への参加を、お願いしている。行事などは、一緒に楽しむこと。それには、まずスタッフが楽しいと思うことが大事と考える。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際、ご家族には、日頃の様子をお伝えし、ご家族との会話を通し、信頼を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・知人と過ごす時間を大切にと考えている。いつでも面会にいらしていただける環境作りを心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ひとりひとりに気を配り、感情の変化に注意し、対応できるよう、申し送りなどにより情報を共有する。席の配置にも気を配り、穏やかに過ごして頂けるよう支援する。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたあとも、ご家族が、遊びにいらして下さったことがあり、今後もそのような関係を、大切にしていきたいと考えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者にとって、今一番良い過ごし方を、ご家族と共に考え、このホームでの過ごしに反映出来るよう、支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご利用者・ご家族からの情報により、アセスメントを作成し、入居後の生活支援に活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者一人ひとりの生活の違いを把握し、念頭において対応する。日々の変化の情報を、共有する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のスタッフ会で、カンファレンスを行い、多くの意見を出し合い、次の介護計画につなげている。又ご家族には、面会にいらした際に、お話しさせて頂いている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録には、食事・水分量・服薬・排泄の基本的な生活の記録のほか、日々の変化についても記録し、申し送り、情報の共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	相談のあった場合は、地域包括・居宅へ、つなげる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加することにより、昔を思い出し、楽しく過ごして頂く。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	湘南あつぎクリニックにより、往診・訪問看護・緊急時の受入の総合的な健康管理を行っている。一部ご利用者については、ご家族対応で受診して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護のときに、伝えたいことや聞きたい事を、バイタルチェック表に記入している。変化のあったときは、24時間連絡できるので、安心できる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は、お見舞いに伺い、状態を把握するよう勉めている。又ご家族とも、連絡を取り合うように、対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居の際、指針を提示し、説明を行い、同意をいただいている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作り、記録ファイルにはさみ、いつでも読めるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防訓練に参加し、なじみの関係を築く。又運営推進会議を通し、協力をお願いする。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬語を使う・居室に入る時は断わってから入るなどの基本的なことは、スタッフ会等で、確認をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	わかりやすい言葉掛けを行うようにしている。選んで頂く場合は、選択肢を少なくしてわかりやすいような工夫をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールについては、食事とお茶の時間のほかは、決まっていない。天気・その日の状態に応じ。買い物・散歩・レクなどを、楽しんでいただく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、理美容に来て頂き、カットや毛染めを、希望により利用していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑から収穫した野菜であることを話しながら、洗ったり剥いたりしていただく。洗濯物畳み・食器洗い・食器拭きなど気持ちにそいながら、お願いする。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の形態を、一口大の刻みや細かい刻みなど、食べやすく対応する。食材を記録することで、バランスに気を配る。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夜間義歯をはずした状態でお休み出来ない方については、昼食後おあずかりして、洗浄剤を使用するなど、一人ひとりに対応してケアしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握し、その方に応じた援助を、行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録により、水分量・食事量などを参考にして、水分を勧めたり、処方されている整腸剤の調節を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ひとりずつ、職員の介助により、入浴して頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お布団での就寝を習慣としていらした方については、安心してお休みいただけるよう対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は、スタッフ全員が把握し、間違いの無いようにチェックを行い、薬に変更があった場合は、受診報告・申し送り等で、周知を徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月のカレンダー作りへの参加や、季節ごとの行事などへの参加を楽しんでいただく。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の散歩は、天候を見ながら、歩行出来ない方には、車椅子を使い、楽しんでいただいている。遠方へのご希望は、ご家族に相談させて頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい品があるときは、買い物と一緒に、ホームで立替、次月ご家族にお支払いいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	書くことの出来る方には、年賀状・暑中見舞いなどを用意し、ポストまでご一緒している。電話についてもご希望があれば、掛けて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りを、一緒に作り、楽しんでいただいている。又、手作りのカレンダーを掛けて、月日を意識して頂く。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席のほか、ソファやディルームの椅子・廊下のベンチなど用意し、ホーム内は、自由に移動していただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン（防炎加工）・家具は、ご利用者の好みに用意していただいている。仏壇をお持ちの方もいらっしゃる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーになっており、エレベータを設置している。フロア・浴室・トイレには、手すりを整備、安全に移動していただく助けとなっている。		



目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語 さがみ

作成日 2010年 9月 1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現在は、行っていないため、災害時への備えを、用意する必要がある。	水・食料・携帯コンロなど、3日分程度を目安に用意する。	会社として、備蓄品目を検討し、用意をする。	今年度内
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。